

# 製品安全データシート (SDS)

作成日 2016 年 4 月 27 日

改定日 2017 年 8 月 20 日

## 1、製品及び会社情報

製品名 FXN-111-S6-8  
会社名 グラフトン株式会社  
住所 東京都世田谷区用賀 4-11-14-3F  
製作者 進藤 泰介  
電話番号 03-6413-4766 FAX 番号 03-6413-4737  
整理番号 GA-3080030427

## 2、危険有害性の分類

### GHS分類

#### 物理化学的危険性

全項目とも「分類対象外」「分類できない」または「区分外」である

#### 人健康有害性

皮膚腐食性・刺激性： 区分 2

目に対する重篤な損傷、目刺激性： 区分 2

上記項目以外は「分類対象外」「区分外」である

#### 環境有害性

全項目とも「分類対象外」「分類できない」または「区分外」である

### シンボル



注意喚起語： 警告

危険有害情報：軽度の皮膚刺激

強い眼刺激

### 注意書き

安全対策：保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用する事。

取扱い後は手、顔等を良く洗う事。

ミストの吸入を避ける事。

応急措置：皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗う事。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受ける事。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をする事。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗う事。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す事。その後の洗浄を続ける事。

眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受ける事。

ミストを吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息する事。

気分の悪い場合は医師に連絡すること。

保管: 容器は密閉し、冷暗所で保管する事。

廃棄: 地方自治体による認可された廃棄物処理業者を通して内容物、容器を処分する事。

---

### 3、組成、成分情報

---

単一製品・混合物の区別 : 混合物 (共重合体)  
化学名 (一般名・別名)  
成分及び含有量

成分	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS NO	含有量
尿素	2-1732	57-13-6	22.0%
スルファミン酸グアニジン	1-402, 2-1773	50979-18-5	<18.0%
グルコース	天然物	50-99-7	<1.0%
ヒドロキシエチルアクリルアミド	2-1023	7646-67-5	<0.2%
クエン酸	2-1318	5949-29-1	<10.0%
クエン酸 Na	2-1323	6132-04-3	<1.0%
非公開			<1.8%
水	天然物	7732-18-5	<60.0%

---

### 4、応急措置

---

吸入した場合: 蒸気、ガスを吸入して、気分が悪くなった場合は、直ちに空気の清浄場所へ移動させて、安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

眼に入った場合: 清浄な水で最低 15 分間洗浄したのち直ちに眼科医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合: 付着した衣服、靴をぬぎ、大量の水または微温湯で洗い流した後、石鹼水にてよく洗う。異常を感じた場合は直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: 清浄な水で口の中を洗浄し、指を喉の奥にいれ嘔吐させ、直ちに医師の手当てをうける。

---

### 5、火災時の措置

---

特定の消火方法: このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は火元への燃焼を断ち、消火剤を使用して消火する。

消 火 剤： 水、泡消火剤、粉末消火剤が有効。

消火を行う者の保護： 消火作業の際は、必ず適切な保護具を着用する。

---

## 6、漏出時の措置

---

人体に対する注意事項：暴露防止の為、保護具を着用して作業を行い、皮膚への接触を防止する。

環境に対する注意事項：公共用水域、河川、湖沼へ流入しないように注意する。  
流入した場合は、必要に応じ、警察署・消防署・都道府県市町村の公害関連部署・河川管理局・水道局・保健所・農協・漁協等に直ちに連絡を取る。

除去方法： 少量の場合はウエス等で拭き取る。  
大量の場合は漏出液を密閉のできる容器にできる限り集め、残留液を土、砂、ケイソウ土、おがくず等の不活性吸収剤に吸着させ、回収する。

---

## 7、取扱い及び保管上の注意

---

### 【取扱い】

技術的対策：換気の良い場所で行う。

安全取扱い注意事項：通常保護具は特に必要ないが、状況によって保護眼鏡等を着用する。

### 【保管】

適切な保管条件：凍結、直射日光を避け、屋内で保管すること。

保管時の温度は5℃以下あるいは40℃以上とならないようにする。

---

## 8、暴露防止及び保護措置

---

### 【設備対策】：

局所もしくは全体排気装置を設置した場所で行うことが好ましい。

### 【管理濃度・許容濃度】：

管理濃度： 未設定

許容濃度： 未設定

### 【保護具】

呼吸用の保護具：保護マスク

手の保護具：保護手袋

目の保護具：保護眼帯（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型）

皮膚及び身体の保護具：保護靴、長袖作業衣等

---

## 9、物理的及び化学的性質

---

### 【物理的状态】

形状：液体

色：薄白濁色～弱淡黄白濁色

PH：2.5～3.2

粘度：6.0～8.0 mPa・s (20℃)

【物理的状态が変化する特定の温度／温度範囲】

沸点：約 100℃

融点：約 0℃

引火点：データ無し

溶解性：水に溶解

---

## 10、安定性及び反応性

---

安定性：通常取り扱い条件においては安定

反応性：反応性なし

危険有害な分解性成物：燃焼などによりCO、NO等の有害ガスを発生する恐れがある。

---

## 11、有害性情報

---

急性毒性：データがないため分類できない

慢性毒性：データがないため分類できない

感作性：データがないため分類できない

---

## 12、環境影響情報

---

分解性：データがないため分類できない

蓄積性：データがないため分類できない

魚毒性：データがないため分類できない

---

## 13、廃棄上の注意

---

都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に、内容を明確にして、処置を委託する。洗浄水等の廃液は凝集沈殿、活性汚濁などで処理することが出来る。その他、水質汚濁法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の定めるところに従う。

包装容器を廃棄するときは、産業廃棄物として処理又は回収にまわす。

---

## 14、輸送上の注意

---

### 国内規制（適用法令）

陸上規制：特段の規制なし（非危険物）

海上規制：特段の規制なし（非危険物）

航空規制：特段の規制なし（非危険物）

国連番号：非該当

国連分類：非該当

品名：非該当

海洋汚染物質：非該当

特別の安全対策：輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。食品や飼料と一緒に輸送してはならない。重量物を上積みしない。

---

## 15 適用法令

---

労働安全衛生法 : 非該当  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
消防法 : 非該当  
化学物質管理促進法 (PRTR 法) : 非該当  
船舶安全法 : 非該当  
航空法 : 非該当

---

## 16、その他の情報

---

### 【参考資料】：

化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ	化学工業日報社 (2007)
化学物質の危険・有害便覧	中央労働災害防止協会編
化学大辞典	共同出版
安衛法化学物質	化学工業日報社
産業中毒便覧 (増補版)	医歯薬出版
化学物質安全性データブック	オーム社
化学物質の危険・有害性便覧	労働省安全衛生部監修
GHS 分類結果データベース	nite (独立行政法人 製品評価技術基盤機構) HP
GHS モデル MSDS 情報	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター HP

このデータは作成の時点における知見によるものですが、必ずしも十分ではありませんし、何ら保証をなすものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。